



第 36 号

二面…被災地を訪れて
三面…最上位経王大善神
四面…日蓮宗佐賀県宗務所
新役員紹介

発行所
佐賀市大和町梅野267-2 親正寺内
TEL 0952-62-0066
FAX 0952-62-0176
日蓮宗佐賀
教化センター
発行責任者
宝蔵寺学親

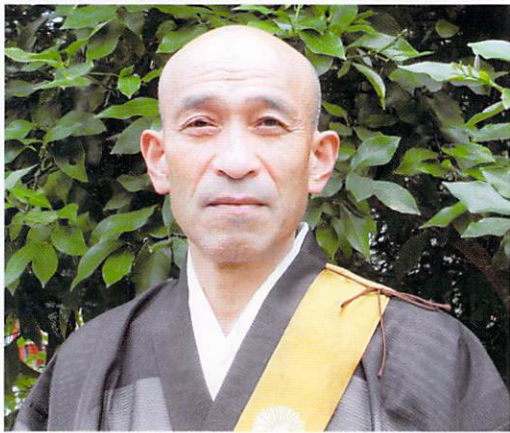
日本国の一切衆生の盲目を
開ける功德あり、
無限地獄の道をふさぎぬ。

日蓮聖人御遺文 報恩抄より

佐賀県宗務所 新所長

小城市 光旭寺住職

田中英康



お彼岸の季節となりましたが、
まだまだ残暑が厳しいようです。
本年三月十一日、東日本大震災
に於いて被災された方々には心
よりお見舞い申し上げますと
もに、亡くなられた方々のご冥
福と被災地の復興が一日も早く
なされます事をお祈り申し上げ
ます。

このたび佐賀県においては、
学成院ご住職小寺大誠僧正が、
平成十一年より、今年五月一日
まで十二年の長きに亘り佐賀県
宗務所長の要職にあり、九州教

区長として、また佐賀管区の宗
務行政にその手腕を振るわれて
私達僧侶・檀信徒を導いて戴き
ましたが、今期を以ってご勇退
なさいました。ここにそのご恩
に対し衷心より感謝申し上げます
次第です。

今日の世相は、心の豊かさよ
りも物欲に走り、自己中心的な
考えの人が多く見られます。ま
た世界中で異常気象による天
災・人災・犯罪等、目を覆うば
かりの事件が多発しております。
しかし今回の東日本大震災以降
は、家族の絆が重要である事が
再認識されはじめたという報道
があり心安まる思いでございま
す。

後漢時代の許慎は、「恩は心
と因とからなり、めぐみの意で
ある」また孟子は、「恩を推せ

ば、以って四海を保んずるに足
るも、恩を推さざれば、以って
妻子をも保んずる事なし」と述
べています。私達は天・地・人
の三者から広く恩を受けていま
す。しかし私達に恩恵を施す天
地は、反面計り知れぬ災害をも
与えることにもなります。日蓮
聖人は、「本より学問し候事は、
仏教をきわめて仏になり、恩あ
る人をもたすけんと思ふ」と述
べられ、日蓮聖人五十五才の
時、師の道善房死去に接し、報
恩抄一卷を述作し、弟子日向上
人をして恩師の墓前に読ましめ
たものです。「夫れ老狐は塚を
あとにせず…されば花は根にか
へり、真味は土にとどまる。此
の功德は故道善房の聖霊の御身
に集まるべし」と結ばれていま
す。「知恩報恩」が、日蓮大聖
人のご生涯にわたる課題であつ
たように、今日お題目を唱えさ
せて頂く私達にとつても「知恩
報恩」を生涯にわたる課題とし
なければなりません。

被災地を訪れて

ちりしはな（散花）、をちしこのみもさきむすぶ、などは人の返らざるらむ。こぞ（去年）もうく（憂）、ことしも（今年）つらき月日かな。おもひはいつもはれぬのゆへ。

日蓮大聖人御遺文「持妙尼御前御返事」

愛・慈・悲・真心

花は散ってしまってもまた咲くし、木の実は土に落ちてでもまた実を結ぶ。それなのにどうして逝ってしまった人は帰って来てくれないのか。去年も亡き人のことを思って、もの憂い日々であった。今年も悲しみは消えず辛い月日を過ごす。この思いはいつも晴れることないから・・・この言葉に理屈はありません。大聖人は、ただ亡き夫を思い続けている持妙尼に同調され、その悲しみを共にされているのです。

先日、未曾有の被害をもたらした大地震と大津波により、多くの方々が犠牲になられた宮城県石巻市・

女川町に、何か自分に出来ることはないかとの思いで足を運ぶ御縁を頂きました。約四ヶ月たっているその現場をみて、何も口にする事ができませんでした。「ひどいひどすぎる・・・祈ることしかできない・・・」八箇所を廻り現地のお上人方と共に一心に御回向申し上げました。その中で全児童百八名の七割が水に飲み込まれた、大川小学校の近くでは今でも百名近くの警察関係の皆さんが一所懸命ご遺骨を捜されています。その慰霊碑の前でテレビでは報道されていない現場のお話をお聞きしました。「アメリカの西海岸で子供さんのご遺体が見つかったんです。」「三月十一日震災から四日間避難した体育館では二千人が立ったまま寝たんです」等、驚く内容のお話に涙をこぼしました。慰霊碑の前にお子さん宛にかかれていた一文では『○○のこと捜し出してあげられなくてごめんね。○○に会いたくて毎日ここに来てるけど・・・どこかにきつというはずなのに・・・夢



にもできてくれないから寂しいよね・・・お兄ちゃんと○○には「涙を見せるな！」って言っていたお母さんなのにお母さんはすっかり泣き虫になってしまいました。毎日お婆ちゃんと同じ空気を吸っていたくて・・・それだけでいい。でもやっぱりもう一度○○の声が聞きたい 笑顔が見たい 夢の中に来てくれたらいっぱい抱きしめる

技術本位

佐賀の老舗

辻の堂のぶつだんや

(株)本庄仏具総本店

〒840-0832 佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL0952-23-2955(代)

信用本位

佐賀県警友会指定
本下株式会社

OMEGA ALPHA SAAL
本下株式会社

草苑

北佐賀草苑
TEL 0952-30-4040
FAX 0952-30-4043
佐賀市兵庫町1115

大和草苑
TEL 0952-64-8448
FAX 0952-64-8447
佐賀市大和町尼寺722-1

南佐賀草苑
TEL 0952-25-1255
FAX 0952-25-1088
佐賀市本庄町本庄951-10

鳥栖草苑
TEL 0942-82-6430
FAX 0942-82-6502
鳥栖市古賀351-1



からね・・・』最後にもう一人の方が「みんなが支え合う人の心の優しさに感謝すると共に、犠牲になった皆様の無念の思いを復興と再建の力に変えて前に進んでいきますよ。お経ありがとうございました。」

慈悲とは、他者と喜びや悲しみを共に出来ることだと言われています。つまりは、他者への思い、他者の立場に立てることが、慈悲であり、愛なのです。私達も個々に出来ることを心からの思いやり（慈悲心）で共にこの日本国に浄仏国土「仏の世界」を作ってまいりましょう。

法華経の守護神 最上位経王大善神

「最上位経王大善神」は、一般的に『お稲荷さん』と呼ばれることから、そのご神体はキツネであるとの誤解がありますが、姿を持たない久遠実成の御本佛の応現として衆生の済度のために菩薩の姿となって現れた、法華経の守護神です。

最上位とは、神々としての位階が最も上位であることを表します。また経王とは、数ある経典（お経の本）の中の王をいい、久遠実成の本師釋迦牟尼佛の秘密を唯一説き明かした妙法蓮華経（法華経）を指します。つまり、最上位経王大善神とは、われわれが受持する法華経のお経の力の不思議そのものの応現なのです。

その最上位経王大善神の姿は、通常美しい女身で、左の肩に稲束をになって、右の手に鎌を持ち、口に如意宝珠をくわえた白狐を連れています。稲束は、最上尊が五穀の神であることを象徴するものです。これは食糧をもって生活を守護することを

意味しています。また鎌は、稲束と共に農作を表し、広く労働を守護する意味を持ち、更に悪を払い、退散させる意をも表しています。白狐のくわえている如意宝珠は、心願成就・開運招福を意味しています。最上位経王大善神の連れている（乗っている）白狐は、最上尊の清浄なることを表す色である白と、神出鬼没の神通力・神秘的な霊力を象徴するものです。

なお、稲荷キツネの認識は、稲荷の眷属である狐の霊力を、人々が恐れるあまりできあがった誤解と思われれます。

妙法蓮華経の智慧の応現たる神ですから、多くの日蓮宗寺院に勧請されています。特に、伏見、祐徳と並び日本三大稲荷（ほかにも諸説あり）に数えられる岡山県の最上稲荷が有名です。武神としての性格の他に、五穀豊穰、商売繁盛、開運など多くの福德をそなえています。また、水の神である「八大龍王」、福祿寿の神である「大黒尊天」とともに各家庭に祀られるかたちも多く見られます。

平成24年度・創業90周年目、仏壇・仏具の総合専門店

光 古賀仏壇店

3代目 代表取締役社長 古賀宏昭

本社 〒840-0813 TEL(0952)23-5521
佐賀市唐人町1丁目2-25 FAX(0952)23-5564

- ・仏壇 ・仏具 ・寺院用具
- ・修理全般 ・別注仏具工事一式

手を合わせるこころを大切に・・・



山本仏具
佐賀市呉服元町 10-12
〒840-0824 ☎ (0952) 23-4308

■宗務所役員紹介■

【宗務所長】

小城市光旭寺住職 田中 英康

【宗会議員】

松尾山光勝寺貫首 平井 日延

【宗務担当事務長】

小城市大妙寺住職 田中 康教

【伝道担当事務長】

多久市等覚寺住職 小寺 成文

【布教師会会長】

佐賀市國相寺住職 松島 正英

【修法師会会長】

佐賀市本経寺住職 初井 恵親

【社会教化事業協会会長】

多久市宝蔵寺住職 藤木 弁昇

【声明師会会長】

佐賀市正福寺住職 藤本 宣文

【教化センター長】

佐賀市親正寺住職 宝蔵寺学親

【協議員】

小城市妙長寺住職 加藤 智顕

佐賀市妙玉寺住職 石井 智俊

小城市教仙寺住職 亀川 学俊

小城市法撰寺住職 峯松 正法

杵島郡日國寺住職 本村 孝弘

佐賀市正伝寺住職 静山 是秀

嬉野市本覚寺住職 藤井 智順

多久市妙海寺住職 宮本 智昭

武雄市円満寺住職 池永 英寛

【日蓮宗新聞支局長】

鹿島市本長寺内 辻 雅英

【会計】

佐賀市賀昌院内 末永 孝司

【書記】

小城市妙嚴寺内 友永 正宏

佐賀市親正寺住職 宝蔵寺学親

小城市妙長寺内 加藤 智久

【参事】

佐賀市妙常寺内 眞木 智光

多久市本覚寺住職 吉永 正法

佐賀市賀昌院内 末永 孝司

杵島郡日國寺内 本村 仁孝

佐賀市妙誓寺住職 古賀 敬紹

小城市妙暹寺住職 辻 清孝

小城市妙嚴寺内 友永 正宏

小城市妙顕寺住職 古賀 一成

唐津市昌善寺内 鶴 孝仁

【青年会会長】

杵島郡妙善寺住職 前田 智憲

【宗務相談室長】

大町町日國寺住職 本村 孝弘

【寺庭婦人会長】

鹿島市本長寺 辻 小夜子

【檀信徒協議会会長】

武雄市円満寺総代 中山 正敏

■役職略説■

【宗務所長】 管区を代表し、地方宗務及び地方活動を統括します。

【宗務担当事務長】 宗務所一般事務を担当します。

【伝道担当事務長】 布教活動の企画実施を担当します。

【布教師会】 「立正安国お題目結縁」の宗門テーマのもと御会式・お彼岸等で言説を行い、布教師並に檀信徒の研修会を開催します。

【修法師会】 修法師の修法力向上のための研修会を行ったり、本山松尾山光勝寺の大祭・大荒行成満帰山式などに出席しております。

【社会教化事業協会】 社会の平和と福祉に寄与し、社会浄化に貢献する会です。内容は施設訪問・歳末助け合い募金・家庭児童相談につき寺庭婦人会と研修会を開催。

【声明師会】 教師(お上人)に対して日蓮宗で定められた法式・声明を正しく伝え檀信徒には法華和讃の唱え方や、作法の指導を行う皆様に一番身近な組織です。

【教化センター】 教箋「慈眼」において、檀信徒の皆様には法華経やご遺文の解説と様々な宗門行事の案内・報告をします。また、宗務所のホームページの運営を担当しています。

【協議員】 管内の布教及び事業その他重要宗務を行います。

【新聞支局】 宗務所の広報活動及び日蓮宗新聞の取材にあたります。

【参事】 宗務所の運営にあたります。

【青年会】 会員相互の研修を行い青年層としての資質を高めると共に、唱題行脚や寺院団体参拝などを通じて布教活動を行います。

設計 石の雅 施工

www.ishinomiyabi.jp

平川石材店

小城市上町 ☎73-4738

石材・墓石に関することは、すべてお任せ下さい。

総合葬祭 有限会社 黄城

葬祭会館

〒845-0022 佐賀県小城市三日月町久米2134-1 (JR小城市西)

光雲閣

黄城代表番号 ☎(0952)-73-3938

光雲閣 ☎(0952)-73-2020